

わが子の健やかな成長を願う玩具

か が にんぎょう 加賀人形 (石川県の稀少伝統的工芸品) × なかしま よしひろ 中島 祥博 [石川県金沢市]

加賀人形は石川県の伝統的玩具です。加賀前田家5代前田綱紀が京都から人形職人を招き、宮中で人気だった稚児姿の御所人形の製作、修理を行わせたことが始まりです。大正時代に入り、加賀人形の特徴である纏や獅子頭を持った勇壮な姿が確立しました。江戸城下で有名な大名火消しであった加賀鳶がモデルになったとも言われています。しかし桐塑(桐の木粉に糊を混ぜて作った粘土)人形は多湿な加賀の土地柄では乾燥に手間がかかるなど、いつしか作られなくなっていきました。昭和に入って加賀人形職人の初代晃山が過去の文献を調べ、工夫を重ね、工芸品として再興しました。今では祝いの席の贈りものとしてのみならず、海外からの旅行客にも人気のお土産となっています。先人が積み重ねてきた技を受け継ぐ職人とともに、伝統の加賀人形を未来に届けるべく中島さんは挑戦を続けています。



●加賀魔除虎

虎の威をもって魔を除くという縁起物で、首を振る動きが心を和ませてくれる。



●獅子頭

加賀ならではの豪華で華やかな意匠。厄払いや立身出世の象徴とされている。



●招き猫

愛嬌のある表情をした招き猫は、人それぞれが求める幸運を引き寄せると。



●おかめとひよっこ(張子の面)

屋号「めんや」は、「顔の形をした『お面』を創造する家」という意味からつけられた。



●加賀八幡起上り

女の子の誕生や節句の贈り物として人気の姫だるま。



目を入れることで人形に命が吹き込まれる。

株式会社中島めんや

金沢市青草町88 近江町いちば館地下

TEL 076-232-1818 FAX 076-232-1820

info@nakashimamenya.jp



中島 祥博 七代目

1959年3月 石川県金沢市生まれ

1981年4月 中島めんやに入社

1986年7月 法人化とともに専務取締役就任

1991年3月 代表取締役社長に就任

【中島めんやの歴史】

創業文久2年(1862)ごろ、初代清助は村芝居の小道具をつくっていた。踊り面の職人としても知られていたという。戦後、四代目当主が加賀人形職人の第一人者だった初代晃山とともに近代的加賀人形の基礎を築く。昭和30年に「加賀八幡起上り」、昭和35年に「米食いねずみ」、平成4年に「猿の三番叟」が年賀切手の図案に採用され、金沢の郷土玩具を全国に広めることになった。